

環城ユニットシティ

世界遺産平遙古城の城外周縁部の再開発計画

CIRCULAR UNIT CITY

Redevelopment of Area surrounding Pingyao Ancient City

奥山研究室 12M17365 張昊 (CHOU, Hou)

1. 序 中国ではかつて多くの都市が城壁によって囲まれていたが、人為的要因や自然的要因によりそれらの城壁の大半は消失した。しかし、文化大革命以降、残存する城壁の歴史的価値が見直され、保全や修復が行われている。特に、山西省平遙県の平遙古城¹⁾は14世紀の城壁及び城内の街並がほぼ完全な状態で保存された唯一の城郭都市である(図1)。しかし、その城外周縁は観光地化を目的とした乱開発によって古城の印象が損なわれている。平遙県は1999年に古城外周縁部に緑地帯を配したマスタープラン(図2)を打ち出したが、城壁との関係性についての具体像は示されていない。そこで本計画では、中国国内の城郭都市のマスタープランにおける、城壁と城外市街地との関係を分析し、城郭都市に求心性をもたらず環城ユニットを考案することで、平遙古城の城外周縁部の再開発手法を提案する。

2. 中国国内の城郭都市のマスタープラン 中国国内で歴史文化名城²⁾として登録されている都市のうち、城壁が全体の7割以上保存され、かつ各都市の政府による

マスタープラン図が入手できる17都市(表)を対象に、各マスタープランにおける城壁と城外市街地との関係を検討した。まず城壁と城外市街地の配置関係を比較した(図3)。次に、城壁と中心業務商業地区³⁾との関係を両者の接続有無とその度合いから整理した(図4)。さらに、17都市全てにおいて、城壁の外周縁部に緑地帯が計画されていたことを踏まえ、それらの市街地への広がり方を整理した(図5)。城壁と城外市街地との配置関係、および中心業務商業地区との接続関係を軸にとり、各都市のマスタープランにおける城郭都市の求心性を比較した(図6)。その結果、城外市街地に城壁が包含される都市が多くみられるが、城壁と中心業務商業地区は点接続あるいは非接続のものがほとんどであった。面的に接続する場合においても、一面で接続する都市しかみられなかった。平遙県政府によるマスタープランにおいても、中心業務商業地区が平遙駅方向の限定された範囲でしか接続しておらず、観光客や住民といった人々の賑わいは城壁の一部分に偏るものと考えられる。



図1. 平遙古城の現状

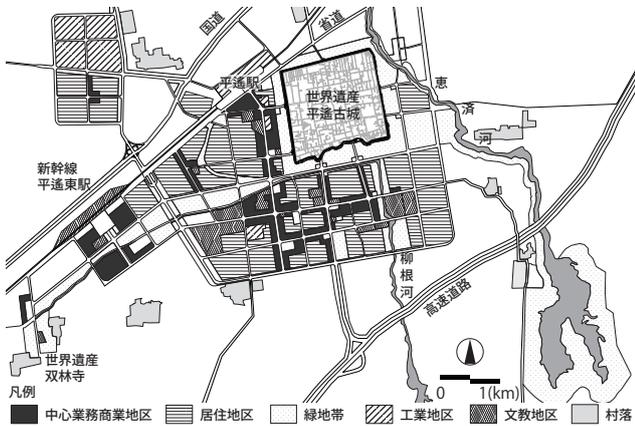


図2. 平遙県政府によるマスタープラン

表. 中国国内の城郭都市の基本データ

城郭都市	省	都市人口(万人)	全長(km)	面積(ha)	建設年	城壁保存状態	城壁周囲の緑地帯の幅(m)	
1	開封	河南省	500	14.7	1438	1368	●(完整)	215
2	洛陽	河南省	680	4.6	193	605	○(ほぼ完整)	120
3	商丘	河南省	732	4.3	125	1511	●	1410
4	荊州	湖北省	645	11.3	445	1646	●	210
5	襄陽	湖北省	550	7.6	224	1368	○	350
6	平遙	山西省	49	6.1	235	1370	●	690
7	大同	山西省	331	7.3	348	1372	●	165
8	西安	陝西省	846	13.7	1319	1374	●	145
9	榆林	陝西省	335	6.7	94	1437	○	140
10	興城	遼寧省	55	3.2	92	1428	●	65
11	南京	江蘇省	206	34.3	4533	1368	○	3240
12	大理	雲南省	12	5.8	210	1382	○	1400
13	壽県	安徽省	135	7.1	305	1066	●	1385
14	張家口	河北省	53	12.1	933	1394	○	140
15	山海關	河北省	14	3.9	134	1381	●	220
16	邯鄲	河北省	1016	4.5	150	1542	●	2015
17	肇慶	広東省	18	2.8	40	1053	○	55

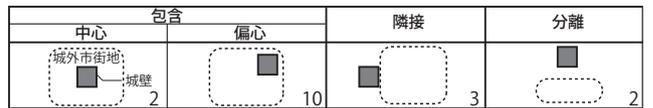


図3. 城壁と城外市街地との配置関係

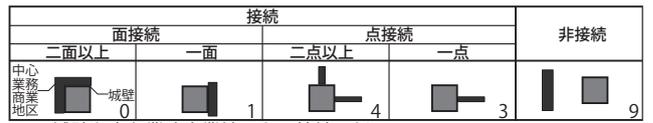


図4. 城壁と中心業務商業地区との接続関係

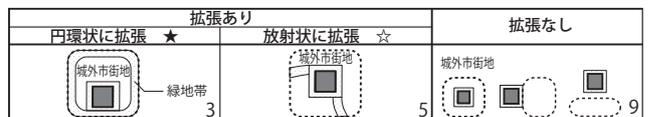


図5. 城壁外周縁部の緑地帯の広がり

3. 平遙古城の城外周縁部の再開発計画

3.1 環城ユニットによる新マスタープランの提案

平遙古城の城壁の四面全てが完整な状態で保存されていることを活かし、城壁の四周に緑地帯と隣接して、中心業務商業地区を含む市街地を配することで、古城を核とする求心的な都市構造を提案する。その際、東西南北4つのエリアの城壁の形態や敷地の地形などの特徴を配慮した、プログラムと形態的性格の異なる4つのユニット(環城ユニット)を配置した(図7.8)。環城ユニットは、城外市街地から城壁への眺望や動線の接続を考慮して、平面形状および断面形状を決定した。また環城ユニットの機能についても、各エリアの敷地状況を踏まえ、商業、宿泊、居住、行政などの編成をユニットごとに変化させている。以上より、城壁の四方に多様な人々の活動が創出されるとともに、それらが城壁を介して結びつく。

3.2 環城ユニットによる城外周縁部の再開発計画

城西ユニットは、平遙駅前に商業機能を集中させ、さらに平遙駅から南へと続く大通りからの視線や動線の抜けを考慮して、細長い形状とした。**城南ユニット**は、曲折した形状の南面城壁に対峙するように、道路に面して連続するフラットなファサードを形成し、さらに伝統的な集落を囲む中庭型の形式とした。**城東ユニット**は、隣接する恵済河および地形の起伏に合わせ、平面形状を雁行させ、さらに様々な高さから城壁を眺められるよう断面形状を階段状にした。**城北ユニット**は、国道や省道に面する大型店舗が城壁周辺の景観の妨げとなっている現状に対し、緑地帯から連続したランドスケープを形成するように大屋根で覆う形式とした(図9,10)。

4. 結 本計画では、平遙県政府による世界遺産平遙古城のマスタープランに対して、古城に求心性をもたらず都市の拡張のあり方を提案した。完整な状態で保存している城壁の四面に緑地帯を介して中心業務商業地区を配し、それらを東西南北各エリアの城壁の形態や敷地の地形などの特徴を配慮した、プログラム及び形態的性格の異なる4つの環城ユニットで提案した。城壁の周囲に人々の多様な活動が生まれ、東西南北の各エリアで固有の魅力が創出されると共に、それらが城壁を介して結びつく観光都市の再開発計画の手法を示した。

注
 1) 古城とは中国語で、主に明清時代(14世紀)に建設された城壁が残っている都市を指す言葉である。
 2) 中華人民共和国国家歴史文化名城とは中国の文化遺産保護制度で、1982年から中国国務院によって古代において政治、経済、文化の中心だった歴史的価値が認められた121の都市が選定されている。
 3) 中心業務商業地区とは多数の人口が集中する都市において形成される住宅、官庁、企業本社、大規模商店などが集積した地区を指している。

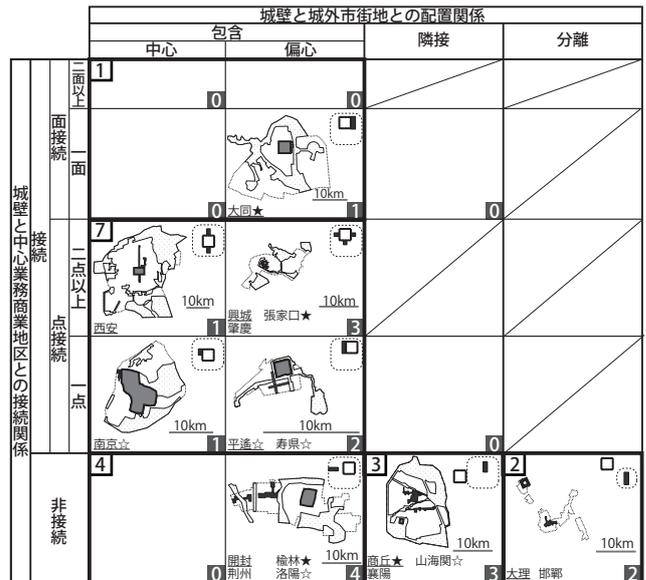


図6 城郭都市の求心性 (注) 図中の記号★☆は図5における緑地帯の広がりを示す。

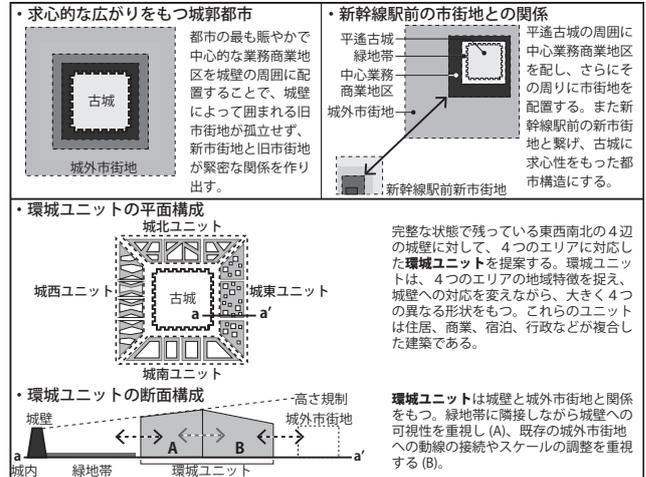


図7 環城ユニットシティのコンセプト

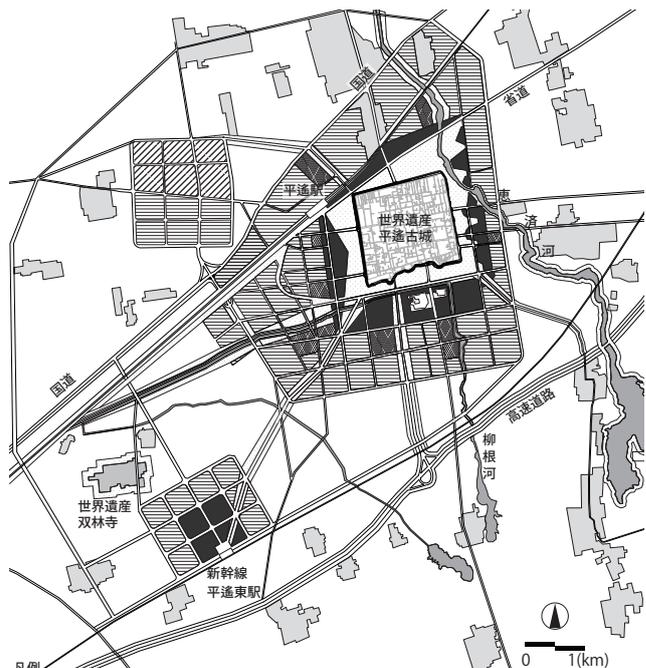


図8 環状ユニットによる新たなマスタープランの提案

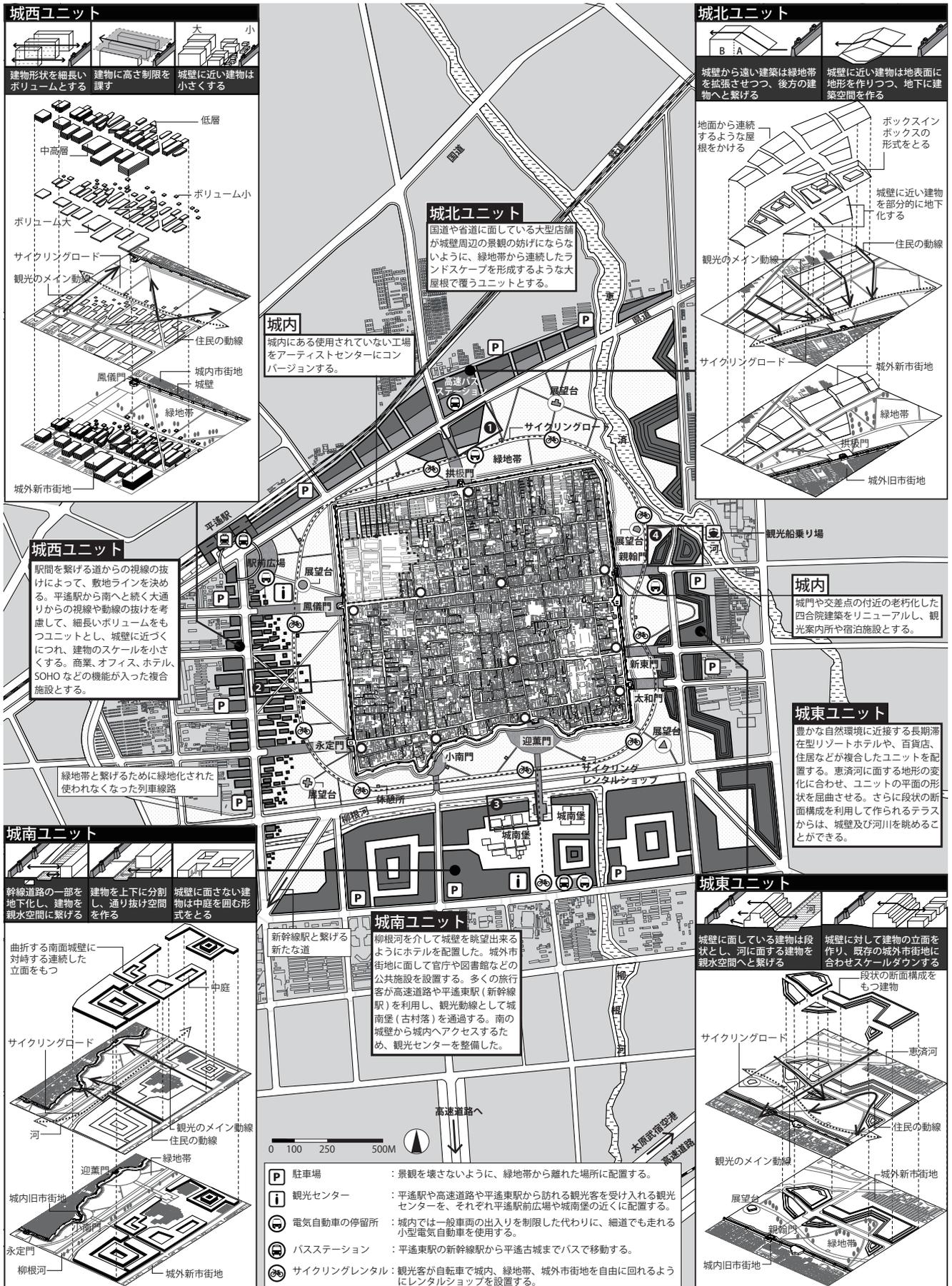


図9 環城ユニットによる城外周縁部の計画

